絵本の里 けんぶち

議会だより 119号

2017．8

剣淵中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏披露（７／１）

第２回定例会・第１回臨時会・第２回臨時会・第３回臨時会 ……2～3P

一般質問　２名が登壇 ……4～5P

農業委員の選任に同意
要望意見書 ……6P

町民インタビュー・親しまれる広報をめざして ……7P

スポットライト・表彰・研修会 ……8P

レークサイド桜岡大規模改修へ

平成29年 第1回臨時会 4月14日

補正予算

○一般会計に240万円を追加しました。

主な内容は自治体情報セキュリティクラウド整備事業に115万円、墓地斉場火葬炉の送風機の修繕に92万円などです。

可決

○国民健康保険事業特別会計に120万円を追加しました。

内容は退職被保険者等療養給付費と高額療養費です。

可決

専決処分

○損害賠償額：126,360円

平成28年10月に発生した車両破損事故にかかる損害賠償金で全額保険で対応するものです。

平成29年 第2回臨時会 5月19日

補正予算

○一般会計債務負担行為

(単位：千円)

事　　項	期　間	限度額
士別地方消防事務組合負担金	30～31年度	12,000
浸出水処理施設PLC更新工事	30～31年度	7,600
合　　計		19,600

２階と３階がシングル化に改修されます

平成29年 第2回定例会 6月20日～21日

条例制定

○行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例制定

内容は国による行政手続きオンライン化法施行により書面で行っていた各種手続きに加えインターネットによる手続きも可能とするために必要な条例の整備を行うものです。

可決

条例一部改正

○町税条例の一部改正

主な内容は平成29年度税制改正において地方税法及び航空機燃料譲与税の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、町税条例の関連規定を整備するものです。

可決

○国民健康保険税条例の一部改正

内容は国民健康保険法施行令の一部改正が公布されたことに伴い関係する町国民健康保険税条例を一部改正するものです。

可決

請負契約

1．契約の目的：
　桜岡宿泊研修施設多機能型整備建築主体工事
2．契約の方法：指名競争入札
3．契約の相手方：
　佐藤・卯城特定建設工事共同企業体
　代表者　上川郡剣淵町緑町８番７号
　佐藤建設管理株式会社剣淵支店
　取締役支店長　中村　拓
4．工事請負金額：62,856,000円

可決

この続きは右上から

次ページ左上から

前ページ右下よりつづく

補正予算

○一般会計に4,325万円を追加しました。
　主な内容は町民センター外壁が経年劣化により崩れ危険なので修繕料に126万円、高速道路のパーキングエリアを道の駅と連絡させるため道の駅周辺の標高データ作成業務に114万円、レークサイド桜岡のシングル化に伴う消耗品（布団カバー、ドライヤー、ポット等）と備品（ベッド、テレビ、冷蔵庫等）購入に1,250万円、８線橋にかかる橋梁長寿命化修繕事業に900万円などです。
可決

○町立診療所特別会計に18万円を追加しました。
　内容はデイサービスりんどうの清掃業務代です。
可決

○簡易水道事業特別会計に86万円を追加しました。
　内容は北剣淵地区水道組合給水管接続工事費です。
可決

報告

○平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書について
　桜岡宿泊研修施設多機能型整備事業に１億1,770万円、中学校トイレ改修事業に4,309万円、その他５事業の合計１億7,620万円を29年度に繰り越すものです。

○平成28年度一般会計事故繰越し繰越計算書について
　昨年、早期の積雪により年度内に工事が完了できなかったため、16箇所分の土木施設、観光施設災害復旧事業に921万円を29年度に繰越すものです。

○㈱レークサイド桜岡経営状況概要
　平成28年度の売上高はホテル部門が１億6,387万円、道の駅部門が１億4,736万円で会社全体では対前年2.5％減の３億1,123万円となりました。
　８月の道内台風上陸による影響や人材不足にかかる攻めの営業姿勢の欠如などにより売上増に至りませんでした。結果として純利益は△1,139万円となり前期繰越と合わせて△3,108万円と大変厳しい状況にあります。町民の皆様の更なるご利用をお願いします。

発議

○町議会会議規則一部改正
○閉会中の継続調査の申し出

議会運営委員会	総務厚生常任委員会	産建文教常任委員会
議会の会期日程等議会の運営に関する事項について	高齢者福祉とボランティア活動の先進事業調査について	土木調査について

平成29年 第3回臨時会 7月25日

補正予算

○一般会計に201万円を追加しました。
　内容は簡易水道特別会計への繰出し金です。
可決

○簡易水道事業特別会計に281万円を追加しました。
　内容は西岡地区水道配水管接続に伴う水圧調整減圧弁工事代です。
可決

売買契約

１．契約の目的：建設機械整備事業
２．契約の方法：指名競争入札
３．契約の概要：除雪ドーザー11ｔ級
４．契約相手方：旭川市永山３条11丁目
２番５号
コマツ建機販売株式会社
北海道カンパニー旭川支店
支店長　山　崎　信　宏
５．契約金額：16,686,000円
可決

導入予定の除雪ドーザ

問 道の駅を防災拠点として位置づけては

生出孝男 議員

国土交通省は全国、道内の道の駅の各駅を災害の際の避難所と指定し、防災拠点としての位置づけを推進している。

けんぶちの道の駅は、町の災害のときの避難所にはなっていないが、地震、風水害以外に、特に暴風雪災害もあることを考えると、交通の要所でもあることから防災拠点として位置づけて必要なものを備えるべきと思うがどうか。

防災拠点として活用が望まれる道の駅

早坂町長

日常営業活動も行っていることから、道の駅施設本体は避難場所として指定してない。災害発生時には臨時の避難所等としての利用を否定するものではない。これまでも暴風雪の際に国道40号線が通行不能になった場合の一時避難所として夜間開放も含めて対応してきたが、町民に対する防災拠点としての位置付けは難しい面がある。今後については道路通行者の一時避難所としての利用等を考慮し、一定程度の防災資機材や防災備蓄品等も必要と思うので順次整備したいと考えている。

生出議員

町民の避難場所としては難しい面もあるが、交通の要所の拠点であるということだ。町が防災拠点として防災計画の中に反映することで、拠点としての位置付が明確になり有効になるものだと思うがどうか。

早坂町長

避難した場合には滞在型を考えなければならない。近くには東剣淵地区研修館等、ドッグランはドクターヘリの着陸地点となっており、避難所としては適当であると考える。何も知らない人でも駆け込む所として道の駅は防災施設となる状況がある。そういう点も踏まえてどういう方法がいいのか検討したいと思う。

生出議員

防災拠点として位置づけるということは、市町村と道路管理者の役割が明確になり、より連携が保たれるという利点がある。

町の防災計画へ反映されると避難者の安否、医療体制情報の提供、飲料水や毛布等の備蓄、配布、ヘリポートの確保、防災学習の場としての活用等がある。

道路管理者は非常用の水、自家発電機の確保、トイレの整備、衛星通信の配備、災害資材の備蓄をするというように役割分担が明確になることから防災拠点としての位置付けが大事なのではないか。

早坂町長

その通りで開発局もノーとは言わないと思うので、町の防災計画の見直しと合わせて前向きに検討したいと思う。

生出議員は次の質問もしました
◎第5期総合計画の諸課題と施策について

答 町の防災計画の見直しと合わせて前向きに検討したい

早坂純夫 町長

問 直売所の今後の販売強化策について

卯城規伊　議員

道の駅農産物直売所の売り場面積を増やし、多品種の品揃えで「剣淵ブランドの確立」と「生産者マンパワーの育成」につなげるべきではないか。

早坂町長

道の駅として事務所・休憩場所や厨房の拡張と合わせて必要と認識している。高速道路のサービスエリア化に向けて現在、開発局・ネクスコ東日本・当町の三者協議が進められ、結果を見て必要な改修を行いたい。

卯城議員

平成26年から農産物の売り上げは増えてきている。一方、直売所には全部で108の棚があるが私が見た日の午前には51の棚に商品がなく、午後には57の棚に商品がない状況だった。残念ながら直売所の魅力をより高めようとする努力が足りない。町内で用意できないのであれば町外からも調達して集客力を増やす必要がある。

加工品についても町内で開発されたものもバラエティに富むようにはなったが、更なる集客力の向上のため農産物の売り場面積を増やし、多品種とすることと合わせて研究していかなければならないと思うがどうか。

早坂町長

直売所での品不足の問題は先般の株主総会でも広域圏での仕入れを検討してはとの指摘を受けている。道の駅のハイウェイオアシス化に伴う直売所の増築も検討してはいるが、まずは空の商品棚の問題を解決するため運営協議会との話し合いの中で個々のブースのあり方等も含め改善していきたい。

改善が望まれる農産物のブース

答 運営協議会と協議して広域連携も含め最善の策を協議していきたい

早坂純夫 町長

道の駅のレストランの新たな看板メニューについて

卯城議員

直売所とは逆にレストランは平成26年から売り上げが減り続けている。工夫はされているとは思うが、外にある鳥モモ焼や蕎麦などの屋台ブースの売り上げよりも少ない。客のニーズに沿ったものを考えていかなければならないと思うがどうか。

早坂町長

利用者のアンケートでは概ね好評を得ている。2週間おきに「おすすめメニュー」を開発提供するなどしていて、今後に向けておいしさを追求した「新メニュー」を開発していきたい。

道の駅内レストラン

農業委員会法改正後初めて議会で同意

第2回町議会定例会において、今回の改選期から農業委員会法の改正に伴い委員の選出方法が「公選制」から町長の「任命制」に変更となりました。任命に当たって議会の同意が必要となり、議案での提案があり全員賛成で同意されました。近年農業者の高齢化及び後継者不足などにより農地の移動が増加しており、その斡旋等に委員の役割が大変重要でありますので新しく選任された委員の皆様の活躍が期待されます。

氏　名	住　所	年齢（8月現在）
児玉敏明	緑　町	65歳
漢　寿夫	仲　町	46歳
竹内和寛	元　町	68歳
中茎　稔	屯田町	42歳
大河琢磨	旭　町	37歳
佐々木喜芳	西岡町	52歳
前田敏男	西原町	61歳
小笠原　宏	東　町	53歳
森脇武史	東　町	50歳
野口　豊	藤本町	60歳
小柳一明	藤本町	52歳
小笠原敏克	藤本町	56歳

（敬称略・順不同）

7月20日に行われた任期始めの定例総会において、役員選任が行われ新しく次の方々が選任されました。

会長　小笠原敏克氏
会長職務代理　竹内和寛氏
農地第一部会長　漢寿夫氏
農地第二部会長　佐々木喜芳氏

新しく選任された農業委員の方々

要望意見書

第2回定例会では各団体から要請のあった要望意見書を3件採択し各関係省庁へ送付しました。

○2018年度地方財政の充実・強化を求める要望意見書

要請団体　剣淵町議会

○テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）創設に反対する要望意見書

要請団体　剣淵町議会

○国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める要望意見書

要請団体
ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

町民インタビュー

親しまれる広報をめざして

インタビュー項目

①興味を感じる記事は
②紙面の良い点・改善点
③町や議会に対するご意見

みんなの声がまちづくり

けんぶち農産物ブランドマークの有効活用で農業振興を！

東町　佐 藤 宏 和 さん

①議会だよりはいつも読んでいます。一般質問・町民インタビューの他に議員の質疑に興味があります。
②写真が多く見やすいがコメントを出来るだけわかりやすく表現したら良いと思います。財政状況は他町村との比較があればよりわかりやすいと思います。
③馬鈴薯のコントラクターがＪＡで検討しているのが実施となれば行政の支援をお願いしたいです。
レークサイド町内巡回バスの現状と今後に向けてのアンケートを実施はどうか。（レークサイド利用増のため）
ブランドマークを定着させるために積極的な利用が必要と思います。

レークサイドの良い点を皆んなで誉めてあげて下さい

緑町　生 出 光 子 さん

①孫が３人いるので教育・商工会のことに興味があります。
②町の決めごとが議会で傍聴しているように写真や記事でわかる。
③毎晩レークサイドに年間券で通っていますが、掃除がゆき届いていますし、スタッフが優しい。レストランの味が良くなった点など常連さんが言っていました。
役場の皆さん議会議員・町民の皆様も頑張っているレークサイドに足を運んで従業員の努力を見てあげて誉めて下さい。そのことがレーク全体の向上につながると思います。
温泉バスを１回50円で乗車させるので利用客が減ったのではないかと思います。

スポットライト

社会福祉法人　剣淵町社会福祉協議会

地域に支えられ30年

ふれあい広場最後のイベント・餅まき

社協が中心となって毎年開催している「ふれあい広場」は、今年30回目の開催となりました。第1回ふれあい広場の開催は昭和63年。町民の皆様をはじめ、町内関係機関や多くのボランティアにささえられての30年です。

ふれあい広場は、障がいをもつ方々と町民の皆様とが交流を通じて互いの人格と個性を尊重し合い、共に支えあって生きていくというノー・マライ・ゼーションの考えの方のもとに障がい者に優しい地域社会づくりと障がい者の社会参加の促進を図る趣旨で開催しています。

障がいをもって生まれた方、事故や病気などによって体が不自由になった方、年齢を重ねることで介護状態に陥った方など、障がいの種類や障がいの程度は様々です。とかく弱い立場に置かれやすい障がい者への理解を深めることが大切です。

今から37年前の昭和55年4月、閉校になった旧西原小中学校の跡に知的障害者更生(現・支援施設)施設剣渕西原学園が誕生しました。これは、過疎対策の一環とはいえ、剣淵町にとっては画期的な出来事の一つでした。寛容で思いやりの心が次々と芽生え、地域が全道各地から障がい者の方々を受け入れ、共に歩む道を選択し今日に至ったのです。剣淵町におけるノー・マライ・ゼーションの原点はここにあると考えます。

これからも、ふれあい広場を通じて、障がい者に対する思いを強くし、共に手を携えて生きる地域社会の構築を目指していきたいと思います。

社会福祉法人剣淵町社会福祉協議会
会長　斉藤　實氏　寄稿

訂正・お詫び

前号のスポットライトの文章中で、記載もれの部分と誤りがありましたので訂正しお詫び申し上げます。

㊣ 吟詠会　㊟ 詩吟会

構成団体の中で剣淵茶道会・剣淵町大正琴愛好会が記載されていませんでした。

以上

表　彰

高橋　毅議員全道表彰

この度、高橋毅議員が議員在職15年以上となり、その功績が評価され、全道町村議会議長会より表彰状を授与されました。

地域づくりセミナーin上川(旭川)

管内の議会議員も対象にした研修を6月23日、前岩手県知事で北海道顧問でもある増田寛也氏による「地方創生の新たな展開による地域づくり」と題し地方の危機感不足、仕事不足、物を作るより伝える事の大切さを全国の事例を参考に話されました。

全道町村議会議員研修会

7月4日札幌コンベンションセンターで、慶応大学教授金子勝氏による「トランプ政権と日本経済、地域経済への影響は？」と題し東京都議会議員選挙の結果や、伸びたモリ、カケソバにかかわる、タヌキとキツネの国会、地方で仕事ができるよう周辺をかぎ回るオオカミの感覚でイノベーションの種を探さなければ地方経済活性化はないことと、米国や欧州と貿易関税引き下げの際は農家などの所得補償をセットでやらなければならないと力説していました。次にNHK解説副委員長の島田敏男氏による「日本政治の、昨日・今日・明日」と題し、都民ファーストの勝利は、安倍内閣のオウンゴールであり27年ぶりの衆参½を自民党が占める中で起る、おごりが選挙の結果につながったのではないか。安全保障関連法やテロ等準備罪が長期政権で異例の国会運営で成立したとの話を聞きました。

発行▶剣淵町議会　編集▶議会広報特別委員会　住所▶剣淵町仲町37番1号　電話▶0165（34）2121
ホームページ▶http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp